土木学会土木情報学委員会「建設３次元情報利用研究小委員会（仮）」

委員募集

■趣旨

建設業では、労働者不足が深刻な課題となっており、生産性の向上が急務となっております。そして、その実現方法のひとつとして国土交通省が取り組んでいるCIMやi-Constructionに見られるように、３次元情報の利活用に期待が高まっています。一方で、施工現場では従来からの情報化施工以外にも、UAV(ドローン)、MMS(モバイルマッピングシステム)、3Dレーザースキャナなど、新しいICT機器が利用されつつあり、実際の現場においても、これらの活用を通して３次元の情報を扱う場面はますます増加していくものと思われます。

しかしながら、建設業において３次元情報を効果的に利用するためには、施工機械・測量機器等のデータの互換性、ソフトウェアの機能・操作性、膨大な３次元データ(属性情報を含む)の受け渡しや共有など、多くの課題があります。そして、これらが生産性向上に大きく寄与するためには、建設業全体の仕事の仕組みを大きく変わっていく必要があると思われます。

本小委員会は、このような３次元情報を利用する中で発生する種々の課題を解消するため、産官学の立場から幅広く議論し、その成果によって世に提言や情報発信を行っていきます。

■研究計画

１．３次元情報（属性情報含む）および関連技術の利用実態把握

２．生産性向上が求められる場面（ニーズ）の調査及び整理

３．適用事例あるいは適用方法のまとめ

４．実務に適用するにあたっての課題の整理と提言

５．上記成果の情報発信

■活動概要

・期間：平成28～29年度（2か年）

・開催頻度：1～2か月に1回程度開催

・イベント：毎年7月～12月に講演会を実施する予定。

・委員：定員30名程度（ただし情報収集、事例提供、イベント運営等を積極的に行えるかた。）

　　　　　　※ 応募者が定員を超えた場合、オブザーバ等での参加をお願いする事があります。

・幹　　事：石田仁（五洋建設株式会社）

　　　　　　矢尾板啓（株式会社パスコ）

　　　　　　藤澤泰雄（八千代エンジニヤリング株式会社）

・応募締切：平成28年4月20日（4月下旬に準備会を開催予定です）

　　　　　　準備会設置後も随時受け付けます。

・応募先：石田宛（Hitoshi.Ishida@mail.penta-ocean.co.jp）にメールで御連絡頂ければと思います。

以上